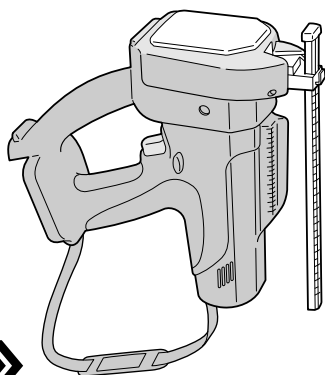


充電全ネジカッター

品番 EZ3561X

取扱説明書



《プロ用》

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

別途 電池パック・充電器が必要です

※電池パック、充電器の安全上のご注意・使いかななどは電池パックおよび充電器の取扱説明書をお読みください。

上手に使うって上手に節電

便利メモ (おぼえのため記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日	品 番	EZ3561X
販売店名	〒()		

もくじ

- 安全上のご注意 2
- 各部のなまえ 6
- 付属品・別売品 7

ご使用前に

- 準備 8
- 作業 10
- 作業終了 13

使いかた

- 刃の交換 14
- お手入れ・保管 16

お手入れ・保管

- 能力 17
- 仕様 17

お知らせ

- 故障かな?と思ったとき... 18
- 保証とアフターサービス... 裏表紙

点検方法

安全上のご注意 必ずお守りください

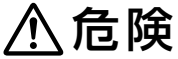
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険 「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
--	--------------	---	------------------

 危険	
 禁止	当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いをしないでください。 ● 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるような作業はしない。 ● 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。 ● 当社製商品以外で使用しない。 ● 分解、修理、改造をしない。 ● 水に浸かるような使用をしない。 発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。
	● 電池パックは、火への投入、加熱をしない。 ● 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。 ● 電池パックの端子部を金属などで接触させない。 ● 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。 ● 劣化した電池パックは使用しない。 ● 腐食性のガスのある場所で使用しない。
 必ず守る	● 本体または充電器からはずした後は、電池パックにバックカバーを必ず取り付け。 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。 

 警告	
 必ず守る	● 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。 ・ 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 ・ 液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にご相談ください。 ・ 液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にご相談ください。
	● 必ず電池パックを取りはずしてから準備／点検／刃の交換をする。 守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。
	● 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。 守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

 警告	
 必ず守る	● 作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。 守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。
	● 電源プラグは根元まで確実に差し込む。 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。
	● 電源プラグのほこり等は定期的にとる。 プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
	● 指定の付属品やアタッチメントを使用する。 守らないとけがをするおそれがあります。
	● 作業する場所は十分に明るくする。 暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。
	● 加工するものはしっかり固定する。 不意に動き、けがをするおそれがあります。 安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。
	● 切断する材料は、安定性のよい台に置く。 台が不安定ですと、けがの原因になります。
	● 使用中は、本体を確実に保持する。 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
	● 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。 お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにご相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。
	● 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。 ● 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっているかないか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。 そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。
 禁止	● コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない。 たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	● 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。 (傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない) 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。 コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。
	● 換気の良い場所で充電しない。 ● 使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。 ● 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。 ● 可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。 発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。
	● 本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。 身体に害を及ぼすおそれがあります。
	● 本体または充電器の風穴をふさがない。 やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。

⚠ 警告

 禁止	● 本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。 ● 作業直後の工具類（刃など）、材料、切り粉などは非常に熱くなっていますので、触れない。 高温になっており、やけどをするおそれがあります。
 分解禁止	● 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、充電工具とその操作を理解した方以外は使用させない。 理解せずに使用することは危険です。
 水ぬれ禁止	● 改造はしない。また、分解したり修理をしない。 ● 火災・感電・けがのおそれがあります。 修理はお買い上げの販売店または、当社で相談窓口にご相談ください。
 電源プラグを抜く	● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 守らないと絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。
 ぬれ手禁止	● ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。 感電のおそれがあります。

⚠ 注意

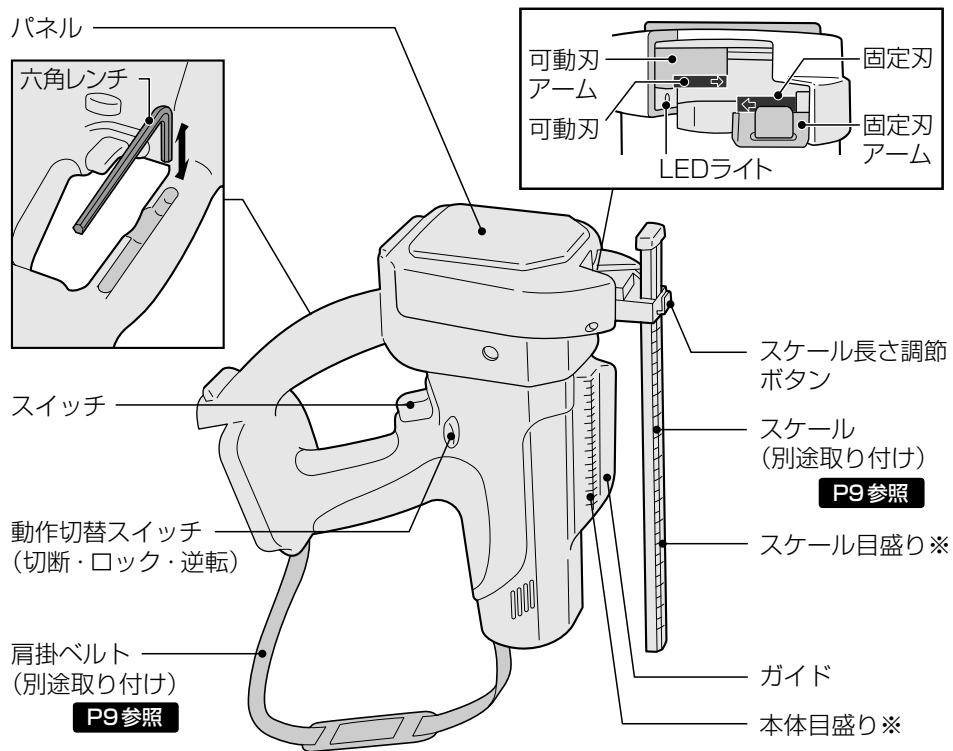
 禁止	● 指定された用途以外に使用しない。 けがをするおそれがあります。
	● 子供の手の届くところに置かない。 事故やトラブルのおそれがあります。
	● 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。 本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。 また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。
	● 本体を、50℃以上になる場所に保管しない。 動作異常のおそれがあります。
	● モーターがロックするような無理な使いかたはしない。 発熱、発火のおそれがあります。 安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。
	● 無理な姿勢で作業をしない。 転倒してけがをするおそれがあります。 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
	● 疲れている場合は使用しない。 事故やけがのおそれがあります。
	● 子供など作業員以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。 けがのおそれがあります。
	● 本体を万力などで、保持した使いかたはしない。 不意の接触などで、けがの原因になります。
	● 本体を作動させたまま、台や床などに放置しない。 事故の原因になります。

⚠ 注意

 必ず守る	● 使用中は、巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。 ● 髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。 守らないと回転物に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。
	● 切断しようとする材料の前方に手を置いたまま作業しない。 手を切るおそれがあります。
	● 電池パックは黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。 守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。
	● 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。 守らないとやけどをするおそれがあります。 複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。
	● 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。
	● 使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。 守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
	● 刃や付属品は取扱説明書に従い確実に取り付ける。 確実に取り付けないと、はずれてけがをするおそれがあります。
	● 調節に用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。 守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。
	● 作業する場所はきれいに保つ。 散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
	● 取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。 守らないと事故やけがのおそれがあります。
	● 刃は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。 破損した刃で作業すると、けがのおそれがあります。
	● 屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。 守らないとケーブルが破損して発火、発熱のおそれがあります。 使用前にコードの破損が無い点検してから使用してください。
	● 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。 守らないと滑ってけがの原因になります。
	● 刃やアームにヒビや割れなどの異常がないことを確認する。 刃やアームが破損し、けがの原因になります。
	● 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめる。また、コードを引っ掛けたりしない。 材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
	● 工具類の交換は、手袋・ウエスなどで手を保護してから行なう。 けがの原因になります。
	● 切断された全ネジの落下、カエリに注意してください。 けがをするおそれがあります。

各部のなまえ

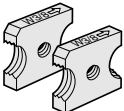
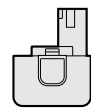
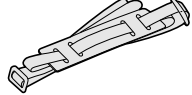
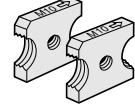
本体 (付属品込み)



※ 目盛りは目安としてご使用ください。

付属品・別売品

本体と付属品の梱包内容をご確認ください。

梱包内容		別売品の有無	梱包内容		別売品の有無
付属品			付属品		
全ネジカッター純正刃 W3/8 (2枚1組)		○ EZ9SBW31	電池パック (ニッケル水素電池)		— EZ9200 EZ9200S
スケール		— EZ3561L1527 (補修用部品)	バックカバー		— (補修用部品)
肩掛ベルト		— EZ3561L3417 (補修用部品)	充電器		— EZOL80
六角レンチ		— (補修用部品)	ケース		— EZ9616
刃カバー		— EZ3561L0528 (補修用部品)	全ネジカッター純正刃 M10 (2枚1組)		— EZ9SBM10

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

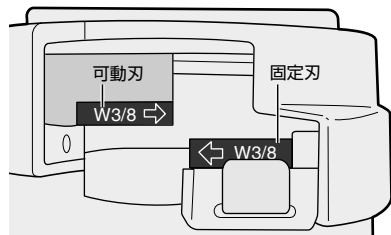
<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト  Panasonic Store

この商品はW3/8全ネジ（軟鋼・ステンレス）、M10全ネジ（軟鋼のみ）の切断を対象にしています。

※ M10ステンレス製全ネジは切断しないでください。本体、刃が破損するおそれがあります。

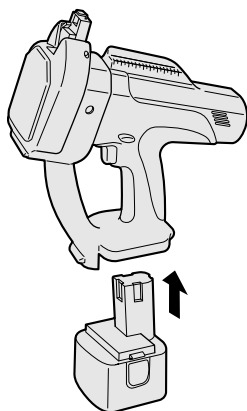
1 刃を確認する



- 切断する全ネジのサイズに適合する刃が本体に確実に取り付けられていることを必ず確認してください。（刃の刻印を参照）
- 替刃は当社純正刃をご使用ください。
- 全ネジのサイズと刃のサイズが適合していない場合、または刃部に欠けや変形がある場合は刃を交換してください。P14・15参照

2 電池パックを取り付ける

- 電池パックが本体に固定されるまで差し込む。



3 本体の動作を確認する

⚠ 注意

- 動作切替スイッチを中央にしても完全なロック状態ではありません。刃を取り付けた状態のときは十分に注意してください。けがのおそれがあります。

切断

切断

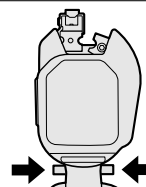


- ① 動作切替スイッチを「切断」位置にし
- ② スイッチを入れる

- 「切断」位置でスイッチを押し続けると可動刃は最大に開いた状態で止まります。再度スイッチを入れると動作します。

ロック（中央）

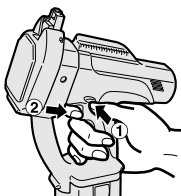
ロック



- スイッチロックの位置
※ 使用後は必ず中央に！

逆転

逆転



- ① 動作切替スイッチを「逆転」位置にし
- ② スイッチを入れる

- 「逆転」位置でスイッチを押し続けると可動刃は最大に開いた状態で止まります。再度スイッチを入れても動作しません。（「切断」位置に戻すと動作します）

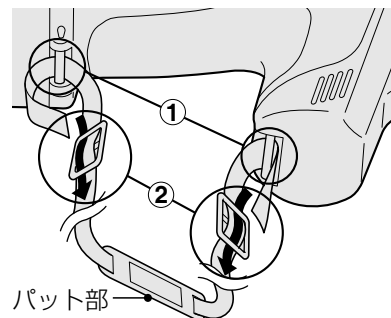
「逆転」位置では全ネジは切断できません

4 肩掛ベルトを取り付ける

⚠ 警告

- 肩掛ベルトは本体にしっかりと取り付け、ご使用前はベルトの長さ、キズ、破れ等、ベルトの状態を確認してください。取り付けが不完全なまま使用すると本体が落下してけがのおそれがあります。
- 肩掛ベルトは、肩部にしっかりと掛けてください。肩部以外の場所に引っ掛けないでください。不意の落下による事故のおそれがあります。

- ① ベルトをベルト取付部に通す
- ② ベルト長さ調節部に通し、調節する

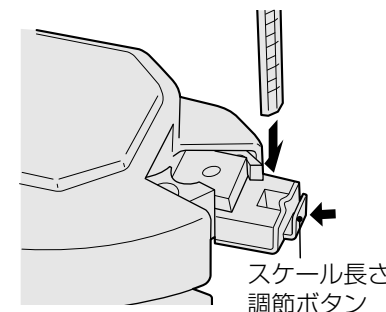


- 肩掛ベルトの長さは個人に合わせて調節できます。
- 肩掛ベルトのパット部を肩に当たる部分に合わせてください。
- 肩掛ベルトを引っ張り、本体にしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 破損したベルトは使用しないでください。

5 スケールを取り付ける

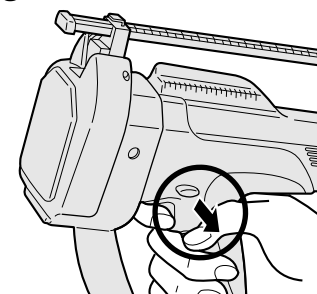
⚠ 警告

- スケール長さ調整後は、必ずスケールをロックした状態でご使用ください。ロックされていないまま使用するとスケールが落下し、事故のおそれがあります。
- スケールをつかんで本体を持ち上げないでください。スケールの破損や本体の落下による事故のおそれがあります。



- スケール長さ調節ボタンを押しながらスケールを差し込んでください。
- スケール長さ調節ボタンをはなすとスケールがロックされます。
- スケールを軽く引っ張り、ロックされていることを確認してください。

6 動作切替スイッチを「切断」位置にする



⚠ 警告

- 本体を落とさないでください。
事故やけがのおそれがあります。
- 可動部に触れないでください。
はさまれたり、切断片の飛散によってけがのおそれがあります。
- 2パック以上の連続使用はしないでください。
本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。

お願い

- 冷えた電池パック (0℃以下) は本来の性能が発揮できないため、ご使用前に再度フル充電してからご使用ください。

切断中のご注意

- 固定刃のみぞが全ネジのネジ山に合わない状態では切断しないでください。
(刃の変形、欠けが生じやすくなります)
- 本体が熱くなったら作業を中断し、十分放熱させてからご使用ください。
- モーターがロックするような無理な使いかたはしないでください。
- 本体の異常に気付いたときは点検修理に出してください。

お知らせ

目盛りを利用することで、全ネジの長さ測定やマーキングの手順が省略できます。
作業に合わせて、スケール目盛りと本体目盛りをご利用ください。
※目盛りは目安としてご使用ください。計測器として長さを保証するものではありません。

スケール目盛り [約2～20 cm (0.5 cm刻み)]

合わせ位置 (※1) でのスケール目盛りの数値が、A部分の全ネジの長さになります。

<使い方>

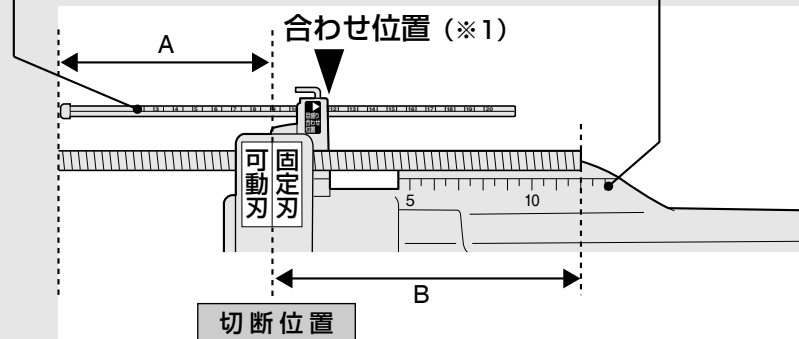
- ① 切断したい長さの目盛りを、合わせ位置 (※1) に合わせる
- ② 全ネジとスケールの先端の位置を揃えて、切断する
⇒目盛りと同じ長さの全ネジが可動刃側に切り落とされます。

本体目盛り [約5～13 cm (0.5 cm刻み)]

本体目盛りの数値が、B部分の全ネジの長さになります。(下図は目盛り「12」の例)

<使い方>

- ① 全ネジの先端を、切断したい長さの目盛りに合わせて切断する
⇒目盛りと同じ長さの全ネジが固定刃側に切り落とされます。



作業A 上向きで作業する

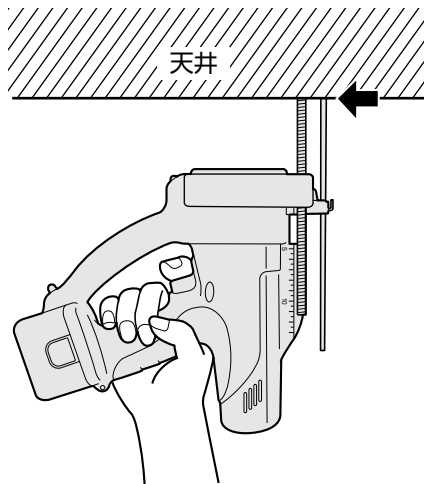
⚠ 注意

- 切断された全ネジの落下に注意してください。
事故やけがのおそれがあります。

■ スケールの先端を天井に当てて切断

(スケールの目盛りは天井から全ネジの切断位置までの長さの目安となります。)

- パネルを天井面に当てて作業するとき、パネルが汚れていると天井面を汚すおそれがあります。
- スケールを天井に強く当てすぎるとスケールの変形・破損の原因となります。

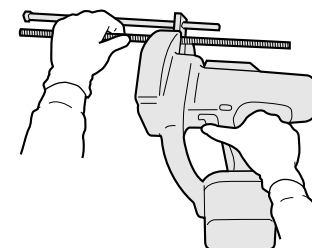


作業B 床面において作業する

■ スケールの先端と全ネジの先端を合わせて切断

(スケールの目盛りは可動刃側の全ネジの先端から切断位置までの長さの目安となります。)

- 床面に水や可燃物等がないことを確認してください。
- 本体を水平な床面に置いて作業してください。



作業C 胸元で切断する

⚠ 注意

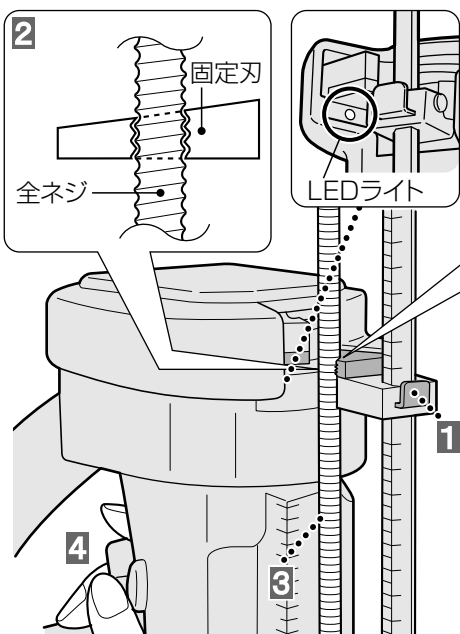
- 作業中は本体に顔を近づけないでください。
切断片の飛散によるけがのおそれがあります。

■ 本体の目盛りに全ネジの先端を合わせて切断

(本体の目盛りは固定刃側の全ネジの先端から切断位置までの長さの目安となります。)



切断のしかた(作業A B C P11参照 共通)



1 スケール長さ調節ボタンを押してスケールの長さを調節する

※ スケールを使わないときは、2へ。

2 全ネジのネジ山を固定刃のみぞに合わせる

3 ガイドに全ネジをそわせる

4 ●スイッチを入れ、全ネジを切断する
●切断後もスイッチを押し続け、可動アームが止まったらスイッチをはなす

〈スタンバイ機能〉

[切断]位置でスイッチを押し続けると可動アームが最大に開いた状態で自動的に止まり、次の切断作業にすぐに取りかかることができます。

●スイッチを入れるとLEDライトが自動的に点灯します。

― 切断面のバリ発生についてのご注意 ―

●可動刃側はバリがほとんど発生しません。構造上、固定刃側はバリが発生します。

可動刃側
●切り口の後処理が不要

固定刃側
●切り口の後処理が必要

●全ネジと刃の合わせ位置や刃の状態が悪い場合、また全ネジの材質、ピッチのばらつきがある場合は、バリが発生します。
●バリでナットが入らない場合は、プライヤ等で全ネジを固定してください。ニッパ・ヤスリまたは、市販のアジャスタブルねじ切りダイスなどを使ってバリを取ってください。

お知らせ

■ LEDライト

- 固定刃のみぞと全ネジのネジ山を照らします。
- スwitchを入れると約3分間点灯し、自動的に消灯します。
- 微小電流で点灯するため本体作業性能にはほとんど影響ありません。
- ライトを消すときは、動作切替スイッチを[ロック] (中央) 位置に戻してください。

■ 本体保護クラッチ

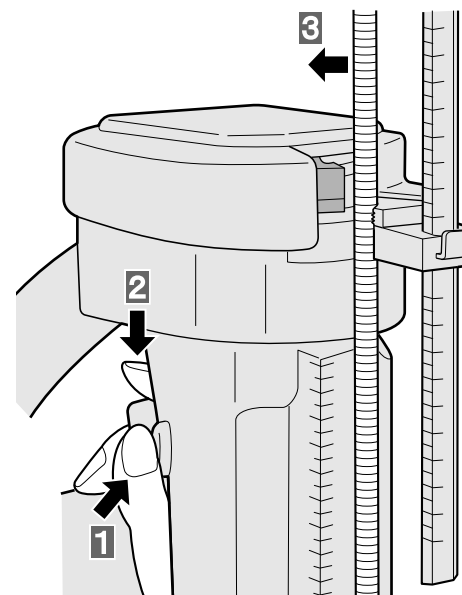
- 以下の作業のときは、本体を保護するためクラッチが働き切断できません。
- 切断能力を超える全ネジの切断
 - 鉄筋など全ネジ以外の部材の切断
 - [逆転]位置での全ネジの切断

⚠ 注意

- LEDライトは補助ライトです。懐中電灯としては使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。
- LEDライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。ライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

切断途中での全ネジのはずしかた

切断位置合わせ不良など、解除が必要なとき。

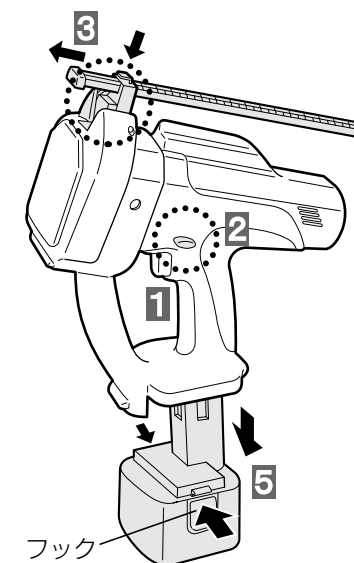


1 動作切替スイッチを[逆転]位置にする

2 スwitchを押し続け、可動アームが止まったらスイッチをはなす。

※ 再度スイッチを入れても動作しません。
([切断]位置に戻すと動作します。)

3 全ネジを取りはずす



1 動作切替スイッチを[切断]位置にしてスイッチを入れ刃を閉じる

- 閉じたときにスイッチをはなす。

2 動作切替スイッチを[ロック]位置にする

3 スケールをはずす

- スケール長さ調節ボタンを押しながらスケールを取りはずしてください。

4 刃カバーを取り付ける

5 フックを押しながら電池パックをはずす

使いかた

刃の交換 (W3/8全ネジ用替刃の場合)

- 別売のM10全ネジ用替刃も同様の手順で交換してください。

警告

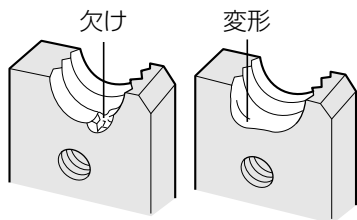
- 替刃の取り付け・取りはずしは、必ず動作切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体から抜いてください。急に動き出し事故のおそれがあります。

注意

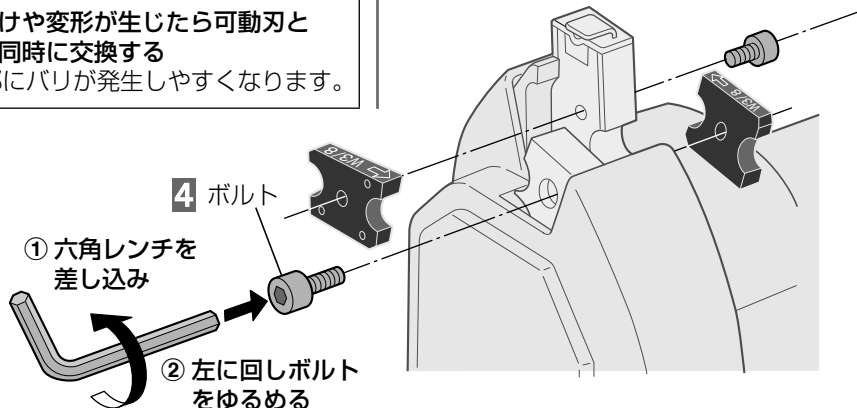
- 刃は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。刃のはずれによるけがのおそれがあります。

- 替刃は当社純正刃をご使用ください。

交換の目安



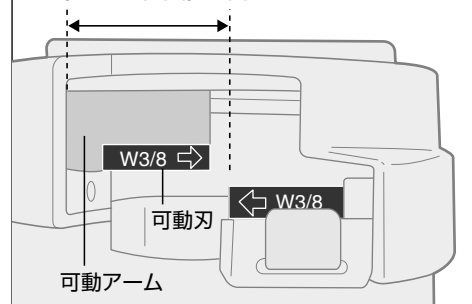
- 刃部に欠けや変形が生じたら可動刃と固定刃を同時に交換する
- 切断部にバリが発生しやすくなります。



刃の取りはずしかた

1 スwitchを入れ、可動刃の位置合わせをする

- 可動アームを動かして可動刃を下図(↔の範囲)に合わせる



2 動作切替スイッチをロック位置にし、電池パックをはずす

3 スケールをはずす P13参照

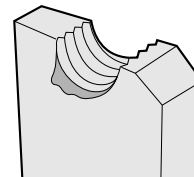
4 可動刃を固定しているボルトを付属の六角レンチ P6参照 で取りはずし、刃をはずす

5 固定刃も同様に刃をはずす。

刃の取り付けかた

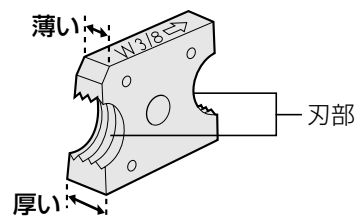
お願い

- 刃部にカエリが出ているときはヤスリ等でカエリを削り落としてから取り付けてください。



お知らせ

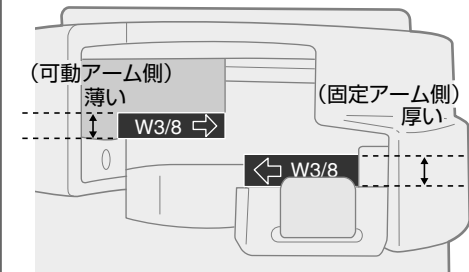
刃には2つの刃部と幅の異なる2つの刻印面があります。



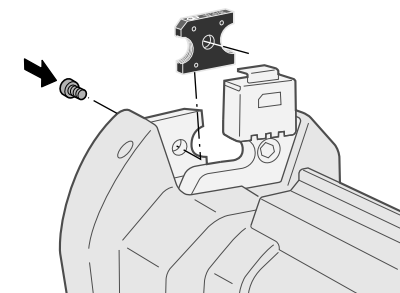
可動アームの刃と固定アームの刃を入れ替えることで1組の刃を2回使用することができます。

	可動アーム側 (薄い刻印面が上)	固定アーム側 (厚い刻印面が上)
1回目	刃A 薄い W3/8	刃B 厚い W3/8
2回目	刃B 薄い W3/8	刃A 厚い W3/8

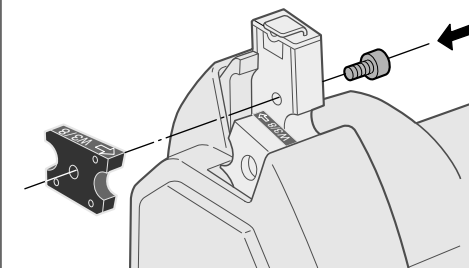
刃の取り付け完成図



1 刃の刻印【W3/8→】の向きと凹部の位置を確認し、可動刃をボルトで確実に取り付ける



2 固定刃も同様に、刃を取り付ける



3 スケールを取り付ける P8参照

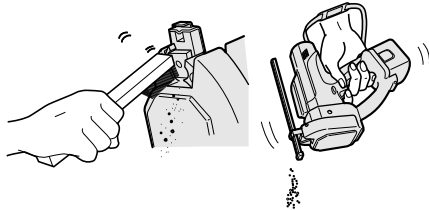
4 電池パックを取り付ける P8参照

お手入れ・保管

お手入れ

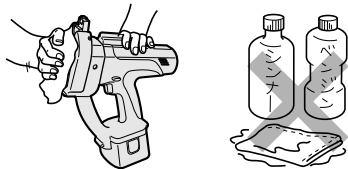
ゴミを取り除く

刃に付着した切粉や可動部に入ったゴミを取り除いてください。



やわらかい布でふく

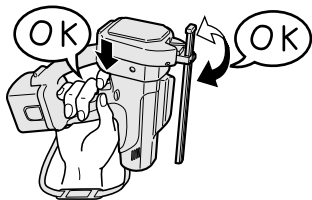
ぬれた布やシンナー、ベンジンなど揮発性のもものは使用しない。(変色・変形の原因)



パネルが汚れていると汚れが天井面につくおそれがあります。

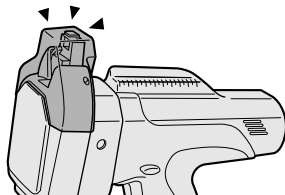
定期点検の実施

ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。



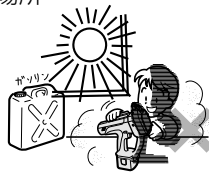
保管

本体に刃カバーをつける



以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



能力／仕様

能力

■ 1回のフル充電による使用能力

- EZ9200、EZ9200Sにて充電/周囲温度 20℃

※ 数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。

部材	作業量
W3/8 軟鋼製全ネジ (SS41)	約 300 本
W3/8 ステンレス製全ネジ (SUS304)	約 180 本
M10 軟鋼製全ネジ (SS41)	約 180 本

仕様

本 体

モータ電圧	DC12 V
切断能力	W3/8 全ネジ (軟鋼・ステンレス) M10 全ネジ (軟鋼のみ) ※別売純正刃使用にて可 P7 参照
最小切断長さ	23 mm
質量 (重量)	約 3.40 kg (電池パック含む)
大きさ (概略寸法)	全長 全高 全幅 246 × 320 × 101 (mm)

※ M10 ステンレス製全ネジは切断しないでください。
本体、刃が破損するおそれがあります。

使用可能な電池パック

※ 表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック (補修用性能部品保有期間中のもの (販売中止後 5 年)) を掲載しています。

電池パックの種類	材料	ニッケル水素電池		ニカド電池				
	タイプ	H	N	C	D	E	F	V
電池電圧	12 V	EZ9108(S)	EZ9200(S)	EZ9006	EZ9001	EZ9101	EZ9106	EZ9107

症 状	考えられる原因
スイッチを入れても動かない。	▶ 電池パックが充電されていない。
	▶ 電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。
	▶ 動作切替スイッチが「逆転」位置にある。
フル充電しているのに切断力が弱い。	▶ 温度が低い場所（0℃以下）で保管した電池パックを使用した。
充電しても切断本数が少ない。	▶ 刃が欠け、または変形している。
	▶ 電池パックの寿命。
	▶ 冷えた電池（0℃以下）を暖かい場所で充電した。
	▶ 電池パックを2か月以上放置していた。 あるいは購入したばかりである。
LEDライトが速く点滅する。 また「コトコト音」が本体から聞こえる	▶ 電池パックがカラになっている。

作業時

処 置
▶ 充電をしてください。
▶ ゴミを取り除いてください。
▶ 動作切替スイッチを「切断」位置にしてスイッチを入れてください。
▶ 再度充電し、充電完了になってからお使いください。
▶ 新しい刃と交換してください。 P14・15参照
▶ 新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
▶ 10℃以上の場所に1時間程度放置し、電池パックの温度が上がったあとで、再度充電してください。
▶ リフレッシュ充電を行なってください。
▶ 充電をしてください。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止
● 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

愛情点検	長年ご使用の充電全ネジカッターの点検を	
	こんな症状はありませんか？	お願い
	• 本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。 • 充電器のコードが損傷している。 • 動作中に異常な音がする。	故障や事故防止のために使用を中止し、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずして必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

修理を依頼されるときは

18～19ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () —

お買い上げ日 年 月 日

●製品名 充電全ネジカッター

●品番 EZ3561X

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体・充電器6か月間（ただし純正刃は消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。）

工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用 **部品代** 部品および補助材料代 **出張料** 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電全ネジカッターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/>



使い方・お手入れなどのご相談

365日
受付9時～20時

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター



フリーコール パナは ナットク

0120-878-709

■左記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1109

■FAX フリーコール

0120-872-460

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11」を押してください。
（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

エコソリューションズ 修理サービスサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>



修理に関するご相談

365日
受付9時～20時

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口



フリーダイヤル パナニ イコー

0120-872-150

■左記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1090

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 パワー機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

©Panasonic Corporation 2016